



(株)フクダニユ 砕石部

県境産廃全量撤去

事件がおしえてくれたもの



県境産廃不法投棄の岩手県側掘削・選別作業が終了した。昭和五十五年八月の三栄化学工業が同地に一般廃棄物最終処分場の届出をし、その後追加の許可を重ね、全国一万社に及ぶ会社から不法に廃棄物を受け入れてきた。

平成十一年に通報を受けて警察による強制捜査が開始され、平成十二年に関係者の逮捕、許可の取消に至るまでの間、汚染土壌を含めて一四〇万トンを超える廃棄物が投棄されている。岩手県側三万二千トンの搬出作業は一部(九千トン程度)残るものの、平成十六年に全量撤去に向けて作業が開始されて以来、八年の歳月を経て今春完了する。その間、福田運送では、年間九千トン程度の搬出運搬業務に携わり、無事に業務を終了できる見通しである。(搬出は三月もある。)

雄大な自然が広がる原野で、廃棄物が棄てられる時も、撤去される時も、ほとんど人の目に触れることもなく、世の中の多くの人達には何事もなかったかのように原状回復がなされる。

生産、消費、廃棄が経済活動の仕組みとしてすっかり定着している現在、廃棄は当たり前と考えられている。実際、修理するより新品を買った方が『安い』『早い』『便利』『快適』と思う場面が日常の中にごろごろしている。そういう時代の典型として県境不法投棄事件があつたことを忘れてはならないとあらためて思う。

現場は厳寒の冬期間も稼働し撤去という目標は達せられたが、これから事業期間を5年間延長して土壌、水質の浄化に取り組むこととなる。



春よ来い 二題

各地で記録的な豪雪となっている今冬。我が社でも例年にない景色が見られる。

1. 砕砂プラント稼働へ向けて

休止している砕砂プラントの運転再開を、今年は二月末を目標にしよう目論見、10日頃からぼちぼちと再開目指して動き始めた。20日頃にはなんとかなるだろうと思っていたが、ちょうどその頃から寒中にも負けない寒波の襲来。毎日凍結との戦いを繰り返すばかりでさっぱり前へ進まない。春の日差しを恋焦がれる日が続く。



回転している分級機も凍結!

2. いつもと違う冬

雪に覆われた切羽 →



採掘切羽は南向きなので、これほどの雪で覆われたことはなかった。



← がんばるツラ

日中も寒いので微妙にしか溶けず、落ちないつら

編集後記 先月はプリンターの故障に伴い大変忙しい月となりました(苦)このプリンターが無かったら、忙しい時は一人で事務所は無理だと痛感しました。やはり機械は便利さだけではなく人件費削減に大きく影響しているのだと思わされました。機械に負けないよう頑張らないと!-



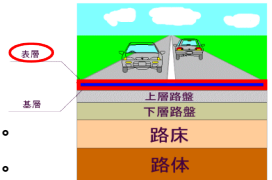
凍上災

事業所内のアスファルト舗装道路の損傷が著しい。特にカーブ地点が顕著で、舗装面に亀裂が入ったかと思うと何日か後には舗装が剥げてしまう。さらに何日か後には無残なクレーター状の穴となりはてる。



クレーター状にあいた穴

日中雪解け水が、また凍結膨張し被害が拡大していく。毎日同じ地点を観察していると進行状況がわかる。わかるけれども手の施しようがない。暖くなるのを待つて補修するしかないだろう。



標準的な道路構造

道路の機能として求められているものは、走りやすさであろう。走りにくい道路は安全でない。もちろん円滑でもない。道路構造の大部分を占めているのは砕石である。耐久性があり、走りやすい道路づくりに貢献したいものだ。

以下原石の独り言

雨ニモマケズ 雪ニモマケズ 塩ニモ 大キナ荷重ニモマケヌ 丈夫ナカラダヲモチ 日照リノ夏モ 寒サの冬モジツト耐ヘ ホメラレモセズ 苦ニモサレズ サウイウ砕石ニ ワタシハナリタイ

プリンターダウン (ToT)

しばらく前から伝票発行用のプリンターの調子がおかしかった。特に寒さが厳しい朝は起動時に異音があった。



寒さが原因かと、帰りにはやさしく毛布を掛け保温してやっていたのだが、とうとう紙送りがでたらめになってしまい所定の位置に印字されない状態となった。修理の問い合わせをすると、期間も費用もメーカーに送って見ないとわからないと当り前のようなのたまう。覚悟を決めて新品と交換したのだがモデルチェンジとやらで、やれ接続が合わない、やれ設定が違ふと、ここでも一悶着。その間に手書き伝票は溜まる一方でお客様方には多大なるご迷惑をかける仕儀となってしまった。

パソコン関係製品の変化のスピードを痛感させられた次第である。

おNEWのプリンター